

# 第四次長野市高度情報化基本計画の 市民意見等の募集結果及び計画の決定について

## 1 実施概要

「第四次長野市高度情報化基本計画」の策定に当たり、「長野市まちづくり意見等公募制度実施要綱」に基づき、実施したものの概要及び結果は以下のとおり。

## 2 募集期間

平成28年12月1日（木）～12月28日（水）【28日間】

## 3 募集方法

書面（持参・郵送・ファックス）、電子申請及び電子メール

## 4 公表方法

記者会見、窓口での閲覧、市ホームページ、広報ながの12月号

## 5 閲覧場所（意見用紙配布窓口）

情報政策課、行政資料コーナー、27支所

## 6 募集結果

### (1) 意見等提出者数

4人（提出方法：窓口0人、郵送0人、FAX0人、  
電子メール1人、電子申請3人）

### (2) 意見等の件数

11件

（件数については、一人につき1事業に対して  
提出された意見等を1件とするもの）

意見区分	件数
① 第1章 計画策定に当たって	0
② 第2章 長野市における情報化の取組	0
③ 第3章 情報化の方向性と基本計画	10
④ 参考資料	0
⑤ その他（計画全体等に関すること）	1
合 計	11

## 7 意見等に対する市の考え方

### (1) 対応結果一覧

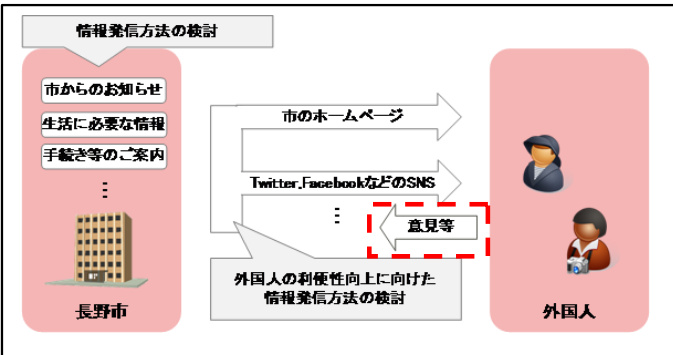
区分	対応内容	件数
1	意見等により、計画（案）を修正、追加する。	4
2	計画（案）に盛り込まれているため修正しない。	2
3	計画（案）は修正せず、今後の取組において検討または参考とする。	3
4	検討の結果、計画（案）に反映しない。	1
5	その他（質問への回答、状況説明など）	1
合 計		11

## (2) 各意見等に対する市の考え方 ①

## 【情報化施策12】 ICT利用による教育環境の充実

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分
1	第3章 情報化の方向性と基本計画	<p><b>小学校のプログラミング教育</b>について、「必要な情報収集」にとどまらず、体制や授業内容の「教育環境の充実」の確実な実施を明示されたい。</p>	<p>現在、文部科学省において、小学校でのプログラミング教育の必修化について、平成32年度からの新学習指導要領に内容が盛り込まれる方向で検討・議論されておりますが、具体的な内容は示さないものとして検討されています。そのため、<b>国の方針を注視しながら、本市の教育にどのように取り入れていくかを方向付けできるように、本計画の期間において情報収集をする旨を記載した</b>ものです。</p>	3 検討・参考
2	同上	<p><b>目標指標の「パソコン教室活用率」の増加</b>について、タブレット端末の導入により自教室等で授業が実施されるため不適当ではないか。「授業におけるICT機器の活用率」とするべき。</p>	<p>ICT機器については、普通教室にはパソコン1台を配備し、先生による教材の提示用機器として日常的に一定程度の活用が図られているのに対し、<b>パソコン教室では一人1台でパソコンを使用する環境のため、ドリル学習への活用等、より高度なパソコンの活用となり、教員のスキル等の向上を図らなければ実現できないもの</b>となります。そのため、教員のICT活用能力の向上を図る上で、パソコン教室活用率を目標指標としております。</p> <p>なお、「授業におけるICT機器の活用率」につきましては、今後タブレット端末等を導入し、児童生徒がグループ学習、ドリル学習を行うことも検討しておりますが、<b>全小中学校に一斉導入することが難しく、導入校と未導入校で一律の指標とすることが難しいため、指標としないこととした経過</b>があります。</p>	3 検討・参考

# 【情報化施策17】 外国人に伝わりやすい情報提供の推進

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分
3	第3章 情報化の方向性と基本計画	<p><b>SNSやホームページによる多言語の情報発信</b>に当たり、日本人視点の内容ではなく、外国人住民情報会議の開催により、外国人住民の協力を得て生活情報などを伝わりやすい表現や内容で発信することを追加してはどうか。</p>	<p>現在、外国人への多言語による生活情報については、外国籍の国際交流員の目線からフェイスブック等により情報発信をしています。</p> <p>ご提案の外国人住民情報会議の開催による外国人住民の協力を得た情報発信につきましては、<b>現在定期的に開催している「長野市国際交流市民会議」や各イベントにおいて、国際交流団体をはじめ、市内在住の外国人や滞在中の外国人留学生等との意見交換の場を通して、情報発信の在り方についても引き続き反映してまいりますので、計画案のとおりとします。</b></p>	2 盛り込まれていないため修正しない
4	同上	<p>外国人住民が市からの情報にフィードバックできる工夫をして、一方的ではなく、<b>双方向の情報発信</b>に変えていく必要があるのではないか。<b>(図22の修正提案)</b></p>	<p>フェイスブックやTwitter、市ホームページによる情報発信につきましては、今後も、文化や習慣が異なる<b>外国人の声を取り入れながら行ってまいります</b>。このため、<b>双方向の情報発信を目指す図に修正</b>します。</p> <p><b>【修正箇所】 計画52ページ図22に外国人からの意見を追加</b></p>  <p>The diagram, titled '情報発信方法の検討' (Review of Information Dissemination Methods), illustrates the interaction between Nagano City (長野市) and foreigners (外国人). On the left, Nagano City sends information through '市からのお知らせ' (City notices), '生活に必要な情報' (Information needed for life), and '手続き等のご案内' (Guidance on procedures). On the right, foreigners provide '意見等' (Opinions, etc.) via 'Twitter, FacebookなどのSNS' (SNS like Twitter, Facebook). This feedback is used for '外国人の利便性向上に向けた情報発信方法の検討' (Review of information dissemination methods aimed at improving the convenience for foreigners). The flow of information from foreigners back to the city is highlighted with a red dashed box.</p>	1 修正・追加

(2) - ③

## 【情報化施策24】 ICT人材の育成

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分																										
5	第3章 情報化の方向性と基本計画	<p><b>目標指標の「子ども向けプログラミング教室等の参加者数（累計）」</b>について、いつからの累計かわからない。</p>	<p>この目標指標は、現在策定中の「長野市商工業振興・雇用促進計画（平成29～33年度）」の戦略プロジェクトの指標に準じて記載しておりますが、同計画の「H27実績値」及びH33の「目標値」の訂正に伴い、本計画の記載についても修正します。</p> <p>なお、目標指標の説明については、本編133ページから記載しておりますが、情報化施策の「取組の概要」においても、<b>よりわかりやすく記載する必要があるため、表の内訳欄に追記</b>します。</p> <p><b>【修正箇所】</b>計画68ページ表中の内訳欄に説明を以下のとおり追加（H33の目標値を修正）</p> <p>「子ども向けプログラミング教室等の参加者数（平成28年度からの累計）」に修正する。</p> <table border="1" data-bbox="672 896 1754 1175"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">内訳</th> <th colspan="5">年度</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スケジュール</td> <td>子ども向けプログラミング教室等の実施への支援</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">支援</td> </tr> <tr> <td>目標指標</td> <td>子ども向けプログラミング教室等の参加者数（平成28年度からの累計） H27 実績値：-</td> <td colspan="4">H28 実績「25人」を基に、 おおむね年間10%ずつの増加</td> <td>200人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内訳	年度					H29	H30	H31	H32	H33	スケジュール	子ども向けプログラミング教室等の実施への支援	支援					目標指標	子ども向けプログラミング教室等の参加者数（平成28年度からの累計） H27 実績値：-	H28 実績「25人」を基に、 おおむね年間10%ずつの増加				200人	<p>1</p> <p>修正・追加</p>
項目	内訳	年度																												
		H29	H30	H31	H32	H33																								
スケジュール	子ども向けプログラミング教室等の実施への支援	支援																												
目標指標	子ども向けプログラミング教室等の参加者数（平成28年度からの累計） H27 実績値：-	H28 実績「25人」を基に、 おおむね年間10%ずつの増加				200人																								

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分
6	第3章 情報化の方向性と基本計画	<b>目標値</b> について、市全体で複数の教室や体験会を促すのであれば、人数設定はもっと多く設定されるべきではないか。	子ども向けのプログラミング教育への支援を計画した「情報化施策24」については、本市の特徴である <b>ICT関連事業者の集積・活性化をさらに推進するため、長期的視野に立った人材育成の観点から取り組むもの</b> で、教育機関や民間事業者が実施する取組に対する様々な人材育成への支援を行ってまいります。 <b>目標指標は本市が関わる教室のみを対象</b> としています。このため、H27実績値を基におおむね10%ずつの増加を目指しながら、 <b>地元ICT産業の活性化につながる長期的な取組としての継続</b> を考えております。	4 検討の結果 反映しない
7	同上	<b>「子ども」を対象とした長期的な視点からの育成</b> であれば、「21世紀型能力の習得」の分類になる取組も明示すべきではないか。(小学校の授業内におけるプログラミング体験へのICT関連事業者による支援など)	子どもたちの能力向上につながる学校における取組については、教育委員会を主体として、関係部署間で連携を図りながら <b>情報化施策12により進めていきます。</b> (No.1に記載のとおり)	3 検討・参考

(2) - ④

## 【情報化施策28・32】地域特性の魅力の情報発信の充実

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分
8	第3章 情報化の方向性と基本計画	市民によるまちづくり活動が <b>地域おこし協力隊</b> がやればよいという印象である。協力隊については専門知識を持つ人を見つけることで、情報発信に結びつけることができるのではないか。	<p>現在策定中の「第五次長野市総合計画前期基本計画」の行政経営分野のうち「市民によるまちづくり活動への支援」において、<b>住民自治協議会などの地域コミュニティ組織の運営と活動や、市民公益活動団体等の活動への支援などを計画</b>していますが、本計画の情報化施策では、その施策の一つとして「<b>地域おこし協力隊による情報発信</b>」を挙げております。</p> <p>なお、取組として挙げている<b>地域おこし協力隊のブログ</b>は、各地域に配属した全協力隊員の持ち回りにより、<b>日頃の活動内容を中心として、都市部からの移住者の目線で長野市の良さや地域の特性を情報発信</b>しています。</p>	5 状況説明



**【情報化施策29】 来訪者に伝わりやすい多様な情報提供の推進**  
**【情報化施策33】 インバウンドの推進**

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分
9	第3章 情報化の方向性と基本計画	施策29についてもインバウンド推進効果があるのではないか。「来訪者」に「外国人観光客」も明示するべき。	情報化施策29の「来訪者」については、「現状及び課題」に記載のとおり、「外国人観光客」も含まれていることを前提としていますので、そのままの記載とします。	2 盛り込まれていないため修正しない
10	同上	次期長野市観光振興計画（案）の施策にも、「外国人観光客受入環境整備」として「主要観光地の案内表示等の多言語化」が挙げられており、情報通信機器を活用した仕組みづくりを検討されたい。	<p>情報化施策33「インバウンドの推進」については、効果的な観光情報の発信のほか、電子的な案内表示の効果的な設置に関する調査・研究を行うことを計画しているため、「取組の概要」に追加記載します。</p> <p>なお、具体的な「主要観光地の案内表示等の多言語化」の方法については、他の自治体等の成功事例などを参考に、費用対効果も考慮した上で検討してまいります。</p> <p><b>【修正箇所】 計画87ページ「取組の概要」に以下のとおり追加</b></p> <p>「…市内観光地へのWi-Fi環境の整備を進めます。（観光振興課）」を</p> <p>「…市内観光地へのWi-Fi環境の整備を進めます。 また、効果的な観光情報の発信のほか、電子的な案内表示の効果的な設置に関する調査・研究を行います。（観光振興課）」に修正する。</p>	1 修正・追加

## 【計画全体】

No.	意見区分	意見・提案等の概要	市の考え方・修正箇所	対応区分
11	計画全体 (第3章 2 本計画の全体像)	本計画案は平成28年度時点での技術・情勢等を前提に記述されており、 <b>今後の変化にも柔軟に対応できるような記載</b> がない。計画段階で正確な予測は難しいことから、各種施策の規模・内容の変更などを明記すべきではないか。	<p>IT技術・情勢等の革新は年々確実に進展しており、本市においても新たな調査・検討を必要とする分野が出てくるものと考えます。</p> <p>また、ご意見のとおり、少子高齢化による人口減少の時代では、5年間の<b>本計画期間において、各情報化施策をどのように進めていくかを定期的に点検・評価し、見直していくことが必要</b>であると考えます。</p> <p>このため、本計画第3章のうち「5 本計画を推進するために（P101・102）」において、「(1)イ 最新の技術動向の導入に向けた検討」及び「(4) 進捗状況の点検・評価及び公表」について記載しておりますが、<b>さらに、PDCAの「ACTION ④計画の見直し」について追加記載</b>します。</p> <p><b>【修正箇所】計画102ページ「(4) 進捗状況の点検・評価及び公表」に以下のとおり追加</b></p> <p>「…指標ごとの目標が達成されているか評価していく必要があります。」を</p> <p>「…指標ごとの目標が達成されているか評価し、<u>必要に応じて事業・取組の見直しを行っていきます。</u>」に修正する。</p>	1 <b>修正・追加</b>